



めざす生徒像：「自律」と「尊重」と「創造」の身についた生徒

「自律」自ら考え、自分で判断し、自分で決定し、自ら行動できる力 ・ 「尊重」多様性を受け入れ、対話を通して対立やジレンマを解決する力 ・ 「創造」問題を解決するために情報や技術等を活用し、新たな価値を生み出す力



学校ホームページ
(QRコード)

★3年生充実の修学旅行報告

本年度の修学旅行は、出発直前に台風が大阪に接近し、旅行当日の出発時刻について、連日検討を行いましたが、旅行中は大きく傘を使用することもなく予定通りの行程で進みました。

3年生は昼食会場で広島お好み焼きを現地の方に焼いていただきながら（広島弁に触れていました）、民泊体験で受け入れ家庭の方と体験や食事をしながら、そして倉敷では倉敷高等学校の高校生に美観地区の案内ガイドをしてもらいながら多くの現地の方と交流を行いました。

また、広島平和記念資料館での見学において過去の戦争の悲惨さを資料を通して学び、平和記念公園で戦没者への慰霊及び平和への祈りを込めて黙とう、誠風中学校平和宣言、折り鶴（事前に全校生徒で折ったもの）奉納を行いました。

2泊3日の修学旅行の子どもたちの様子は学校ホームページをご覧ください。

修学旅行を通じて、学年・クラスの交流を深めるだけでなく、現地の方との交流を深め、人とのつながり、平穏な日常への感謝を実感しました。

1学期末には、全校で平和学習を実施します。

～誠風中学校平和宣言～

今、私たちは広島の下（もと）に立っています。

26.8度。あの日の広島が観測所に記録されています。

私たちならとうに慣れた暑さです。

昨年のおの日と同時刻なら、すでに30度を超えるでしょう。

想像してみてください。

直後に約4000度の炎に包まれ、燃え上がった街の熱さを。

1945年8月6日午前8時15分、

人々はいつもと変わらない日常を過ごす中、

この広島に、原子爆弾が投下されました。

被爆者の中には私たちと同じぐらいの年齢の学生たちも含まれています。

戦争は、「人の命」、「夢」、「生きる喜び」を奪う、

最大の人権侵害なのです。

原爆投下後もなお、

後遺症が残ったり、がんという病に侵されたり…

原爆によって心身に及ぼされた傷は、

時が経過しても癒えることがなく、

今も広島の人々は、不安や恐怖と隣り合わせです。

なぜ、戦争が起こってしまったのか。

なぜ、原爆は落とされたのか。

なぜ、罪のない人々の命が奪われたのか。

原爆の被害を受けた人々の思いや戦争というものの恐ろしさ。

私たちは、その事実を受けとめ、過去の過ちから学び、
次世代に伝えていかなければなりません。
すべての人々が助け合い、
平和の実現に向けて努力することが、
世界唯一の被爆国である、
日本の私たちの使命であり責任だと思えます。
私たちは、今ある平和に感謝し、これからも学び続けます。
二度と戦争という悲劇を繰り返さないために。
世界中の人々が平和で暮らせる世の中を築くために。

私たちがこれからも平和について考え続け、
自ら行動することを誓い、ここに誠風中学校平和宣言を宣言します。

3年生修学旅行実行委員（平和学習担当）

～民泊体験の感想～

- ・雪室に入った ・滝を見た ・ダムを見に連れて行ってもらった ・ホテルを初めて見て、ステキだった
- ・夜に鹿とイノシシを見るなど、こっちは出来ない体験が楽しかった
- ・水がすごくきれいだった ・散歩が楽しかった ・豆を植えた
- ・自然を感じる事が出来て普段とは違う体験が出来て楽しかった
- ・料理がおいしかった ・手巻き寿司をみんなで作って食べたら美味しかった
- ・取れたての野菜や精米したてのご飯は美味しかった
- ・自然の中でのBBQや花火が美味しくて、楽しかった
- ・自分たちで捌いたイワナを焼いて食べたが最高に美味しかった
- ・グラスにアクリル絵の具でお花を書いたり一緒にご飯を食べて楽しく話をした
- ・たくさん会話をして全員の仲が深まった ・おばあちゃんの人柄最高！
- ・畑の野菜は自分たちのために作ってくれるという大変さがわかったから、これからご飯を残さず食べようと思う
- ・また行ける機会があればぜひ行きたい
- ・もう少し田舎を満喫できれば良かったと思う
- ・もう少し外で体験出来たらよかったが、雨だから仕方ないが
- ・雨で農作業の体験が出来なかったのが残念だった

民泊体験で滞在した家庭の習慣（食事前のあいさつ）を、学校給食の時に紹介（実践する）クラスもあり、旅行後も体験したことを生徒間で交流していました。また、現地のあさがおの苗を譲り受け校内で育てています。何色の花が咲くのか楽しみにしています。

修学旅行は学年ごとに方面や実施コンセプトが少しずつ異なります。いずれの学年でも充実したものとなるよう尽力してまいります。

★6月30日のオープンスクールへのご参加ありがとうございました。

午前（2時間目～4時間目）・午後（5・6時間目）のオープンスクールには多くの保護者の方に来校いただきました。保護者入校証のご着用ありがとうございました。

当日は、PTA 実行委員会の方の給食試食会、Seifu Café での学校運営協議委員と生徒会生徒等との対談なども行いました。

Seifu Café に関心を寄せて、入室いただく保護者の方もいらっしゃいました。

また、感想として、楽しそうに過ごしている子どもの姿や先生へのエールをいただく一方で、頑張っしてほしいというお言葉もいただきました。お忙しい中ご記入、ありがとうございました。ご指摘いただいた点は教職員で共有し取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願い致します。

7月9日から個人懇談が始まります。お忙しいとは思いますが、ご予約をお願いします。

★7月の給食から

栄養技師さんから7月の給食の紹介です。



7月2日は

はんげしゅう

半夏生

夏至から数えて11日目のことを「半夏生」といい、この日までに田植えを終わらせる節目の日でもあります。関西では、「たこの足ののように稲がしっかりと大地に張り付きますように」という思いを込めて、半夏生の日にはたこを食べる風習があります。給食では、「たこめし」が登場します。お楽しみに!

★7月7日は七夕献立★

七夕には、「そうめん」を食べて邪気を払い、無病息災を願う風習があります。中国の伝説と食べ物に由来するもので、もとはそうめんではなく、「索餅(さくべい)」というそうめんの原型とされる小麦粉から作られたお菓子が食べられていました。給食では、天の川に見たてたそうめんが入った「にゅうめん汁」と「七夕デザート」が登場します。

さくべい
索餅



★毎月19日は食育の日★

今年のテーマは「郷土料理」です。毎月19日かその前後の日で、各地の郷土料理が登場します!7月は静岡県の郷土料理「富士宮焼きそば」です。静岡県のご当地グルメで、コシの強い独特の蒸し麺、肉かす、いわしの削り粉が特徴です。給食では、蒸し麺のかわりにスパゲティ麺、肉かすのかわりに豚バラ肉を使っています。



本格的な暑い季節になります。ご家庭でもお子様の睡眠不足や食欲不振に陥らないよう規則正しい生活となるようお声かけをお願いします。